

## アジア研究教育ユニット（特別経費）平成 29 年度教育研究報告書

<b>事業課題名</b>	アジアにおける格差フリーな経済システム構築をめぐる特別講義および国際会議開催に伴う教員招聘
<b>代表者名</b>	小杉泰
<b>事業概要</b> (600 字程度)	<p>本事業は、アジアにおける格差フリーな経済システムの構築をめぐる特別講義および国際会議を開催するものである。本事業では、特に、近年、東南アジアで台頭しているイスラーム経済を取り上げ、その可能性と意義について本学の学生に向けて特別講義を行うとともに、本学の研究者とともに研究会議を開催する。特別講義および会議の開催に当たっては、イスラーム経済研究の世界的拠点である英国ダラム大学イスラーム経済金融研究センター（Durham Centre for Islamic Economics and Finance）と提携し、同センターが有する随一の国際研究ネットワーク（とりわけ、東南アジアのネットワーク）を活用することで、優れた研究者を複数招聘する（「相互理解と問題解決のための現代アジア研究の国際共通基盤構築（ミッション3）」への貢献）。また、今回の国際会議では、本学に所属する大学院生にも発表の機会を設ける。これは、海外の第一線の研究者と研究交流の機会を与えると同時に、自らの研究成果の国際発信を行うための訓練の場を提供することを目的としている（本事業における「国際連携大学院プログラムによるグローバル人材育成（ミッション2）」への貢献）。</p>
<b>成果の概要</b> (800 字程度)	<p>本事業による国際会議は、2017 年 9 月 27 日から 28 日まで 2 日間にわたって Kyoto International Workshop on Economic Disparity in Asia として開催された（Kyoto-Durham International Workshop in Islamic Economics and Finance: New Horizons in Islamic Economics と共同開催）。会議には、本事業経費によって招へいたした 3 名の教員（Mehmet Asutay ダラム大学教授、Banjaran Indrastomo イスラーム法と経済協会（Masyarakat Ekonomi Syariah）研究出版課長、Erhan Akkas カタル大学湾岸研究センター客員研究員）に加えて、11 名の研究者、合計 14 名がイギリス、マレーシア、インドネシア、カタル、トルコから来日し、研究報告を行った。また、京都大学からは、9 名の教員、大学院生が研究報告を行った。</p> <p>会議では、Mehmet Asutay ダラム大学教授による特別講義（Emancipation and Empowerment: Re-Framing Islamic Finance within Islamic Moral Economy in Responding to the Contemporary Challenges in Islamic Financial Institutions）冒頭にあり、そこでは、アジアにおける格差フリーな経済システムの構築に向けて、台頭しつつあるイスラーム経済がどのような提案と貢献ができるか、その可能性の高さも含めてグランドデザインが示された。その後、国際会議の書くセッションでは、西洋起源の近代資本主義とは異なる独自性を持つイスラーム経済が、21 世紀の持続可能なアジア地域の経済社会の構築にどのように貢献しうるかについて活発な議論が交わされた。特に、イスラーム経済が取り組んでいる独自の社会福祉システムの構築や、そこで掲げられている規範的モラルの普遍性、アジアの自然や文化、社会に根ざしたイスラーム型経済発展径路の可能性などが中心的に議論された。本会議の参加者の多くは、イスラーム経済が専門であったが、アジアにおける格差フリーな経済システムの構築をより広い学問領域から提唱していくためには、イスラーム経済研究とアジア研究諸学のより密接な交流が必要であるという意見も提起された。</p> <p>本事業の教育効果として、会議に参加した本学の大学院生が、自らの研究発表に加えて、招へいたした教員・研究者と非常に積極的に研究交流を行っている光景が至る所で見られたのは特筆に値する。次世代の学術研究を担う大学院生に対して、今後もこのような機会を継続的に提供していくことの重要さとその効果の大きさを痛感させられた会議でもあった。</p>

